広報 おおくま

2018.1
No.546



迎春

―諏訪神社の狛犬と小法師―

38ページに「表紙の写真」

今月の紙面

新年ごあいさつ 2　守れサケ還る熊川 4　住民意向調査にご協力を 14

新年ごあいさつ



大熊町長・渡辺利綱

タブレット端末のＡＲアプリを起動し、渡辺町長の写真にカメラをかざしてみてください。詳しくは 24 ページをご覧ください。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

東日本大震災および福島第一原子力発電所事故から早6年9か月が経過しました。いまだ、全町民が長期の避難を余儀なくされておりますこと、たいへん心苦しく思っております。復興の歩みが遅いとの声も多くいただきますが、昨年を振り返りますと町内では大きな動きがありました。

9月、復興拠点と位置付ける大川原地区で、平成30年度中に完成を目指す役場新庁舎をはじめ、商業施設、町営住宅、交流施設等の建設を進めるための基盤整備事業起工式を行いました。また11月には、特定復興再生拠点区域の整備計画が国の認定を受けました。これにより大野駅や県立大野病院周辺を含めた約８６０ヘクタールの除染が実施されますが、これらは大川原の復興計画と連動して一体的に取り組んでいかなければなりません。また今回拠点外となった区域についても引き続き町土の荒廃防止に努め、再生に向けた取り組みを継続してまいります。

10月末に設立したおおくままちづくり公社は、農地や宅地等の不動産の維持管理に関する対応や、イベント企画等も含めて幅広く相談できる窓口としての役割を担う組織であり、大きな期待が寄せられています。

また、中間貯蔵施設では、受け入れ・分別施設や土壌貯蔵施設が本格運用を開始し、減容化施設の火入れ式も行われました。町内をはじめ、被災地の復興に弾みがつくと期待しています。一方で、先祖伝来の土地や生まれ育ったふるさとを失う苦しみを味わい、苦渋の決断をされた皆さまには、断腸の思いであろうとお察しいたします。町長として、また一人の町民として、その苦しみを共有する気持ちを持ち続けなければならないと思っています。

震災からの年月の経過は、少しずつ心の傷を癒してくれる一面もありますが、長期避難により、時間の経過とともに重くのしかかってくる面も多いのではないでしょうか。心の復興の重要性が叫ばれていますが、できるだけ町民の皆さまに寄り添い、多様なニーズに応えたいと思います。避難生活が続く中では、高速道路無料措置、国保税等の減免のほか、絆維持事業の継続など心のゆとりにつながる施策に引き続き取り組んでまいります。

鎌倉市に避難している私の友人の一人が、時々会いに来て町の将来について目指すべき姿を熱っぽく語ってくれます。「残念ながら大熊町は汚染され厳しい状況にある。ならばそれを克服して、美しく咲き誇る花木を植樹して日本一美しい桃源郷をつくればいい」と。四季折々の花木を植え、維持管理し、末代まで守る。花木に囲まれた美しいふるさとを町民の皆さんと共につくり上げてゆく。このささやかな新春の夢を、必ず実現すると誓います。

皆さまにとりまして明るく良い一年となりますようお祈り申し上げます。

新年ごあいさつ



大熊町議会議長・鈴木光一

新年を迎えるにあたりまして、議会を代表してごあいさつを申し上げます。

全町避難から間もなく7年が過ぎようとしていますが、町民の皆さまの生活も町の復興もこれまでより前に進み、将来に希望を見出すことができ、明るく元気に過ごせる年でありますよう願っています。

昨年11月、特定復興再生拠点区域整備計画が認定され、既に終了した一部地域に引き続き、認定された区域の除染が実施されることになりました。事業を着実に進め、今回対象にならなかった地域も順次見通しが立つようにしていかなければなりません。常磐自動車道インターチェンジ整備事業は進んでおり、JR常磐線全線開通に合わせた大野駅改修の協議も行われています。地域間の繋がりある整備が進められていくことになります。

これに先立ち、9月には大川原地区における復興拠点整備事業が開始されました。役場庁舎を始め、住宅、商業施設、その他の公益的施設が計画されており、町内全域の環境整備に向けた起点となることが期待されています。その周辺では植物工場、公営墓地整備が進み、また10月にはまちづくり公社が設立されました。除染後の土地等を有効に活用するための役割を担うほか、将来的には町振興に関わる各種事業を展開する機関になります。

一方で、全町避難は長期にわたり、将来的に避難指示が解除されても、それが一概には帰還に結びつかない状況になっています。しかし汚染されたふるさとを生活可能なまでに除染し、インフラ整備を進めていく中で、選択可能な環境を整えていかなければなりません。まずは放射線管理に万全を期した上で、立ち入りの自由度を従来より高める必要があると考えます。

除染土壌等を保管する中間貯蔵施設は、29年度には用地契約が進み、平行して施設整備も進行しています。ふるさとを失うという苦渋の判断をせざるを得なかった皆さまに思いを致さずにはいられません。この広大な敷地を有する施設が、町の復興に影響を与えることがないよう、引き続き注視してまいりますが、同時に皆さまの、町民として、あるいは地域単位のつながりを今後も大切にしていきます。

町民の皆さまの考え方は人により、また置かれている立場によって異なり、どのような生活を選択するのかもさまざまではありますが、避難が続く中、高速道路無料措置や医療費の無償制度、生活や福祉に関する相談制度、コミュニティ事業等、各種の生活支援策が継続されるよう取り組んでまいります。

今後とも皆さまの安定した生活を願い、一体となって努力を重ねてまいりますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

守れ サケ還る熊川

町を流れる熊川と、熊川を母川とするサケは、ふるさと大熊町にとって大切なシンボルです。古くから町民の暮らしは熊川のサケとともにありました。サケが還（かえ）る熊川を後世まで残したい。震災・原発事故で一度は途絶えた熊川漁業協同組合の活動が、再開されようとしています。



サケと熊川と大熊町

熊川でのサケ漁に関し、大熊町史は「おそらくこの地域に人間が住みはじめたときにさかのぼることができ」「秋になると、毎年のように群れをなしてのぼってくる熊川のサケが、この

地域の人々にとって貴重な食料とされたことは疑いのないところ」と記しました。

明治時代、サケ漁は「川元」と呼ばれる責任者のもとで管理されていました。昭和2年には「熊川漁業組合」が発足し、その後「熊川非出資漁業協同組合」を経て、昭和36年に熊川漁業協同組合が誕生します。戦後は安定した漁獲量を確保するため、ふ化事業に着手しました。町などの助成を受けながら、ふ化場、やな場などの施設整備も重ねてきました。震災前は木戸川、泉田川に次いで県内で3番目の漁獲量でした。



熊川で網を引いてサケ漁を行う漁協組合員たちの姿は、秋の町内ではお馴染みの光景でした。奥の建物は漁協の第一ふ化場（2007年10月28日撮影）。右の小さな写真は、国道288号沿いに建つやな場の看板です

サケとともに熊川とともに



熊川漁協の1年



10月、11月のサケ漁の様子。組合員は交代でほぼ毎日川に来ていたそうです



獲ったサケから採卵し、容器の中で人工授精してふ化させました



ふ化した稚魚を育てたふ化場の養魚池。毎年約600万匹を放流しました



育てた稚魚は体長３センチほどに成長し、大海への旅を待ちます



２月の放流。幼稚園児が小さなバケツからそっと放して見送ります

実りの秋 サケ漁にサケ祭り

熊川でのサケ漁は河口から数百メートルのところにやな場を設置し、サケを河口へ追い込んで網で一気に捕獲しました。10月、11月は組合員十数人が連日サケ漁を行いました。年度別の捕獲量は表のとおりです。

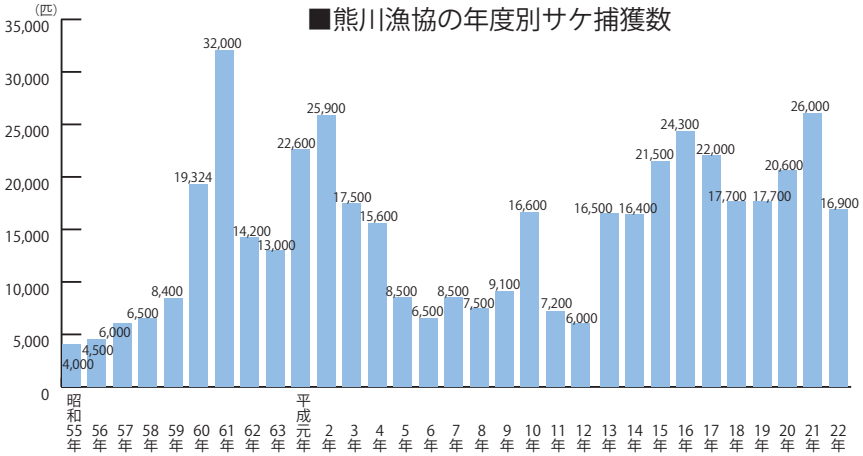
河口近くには2つのふ化場があり、サケから卵と精子を採取して養魚池で稚魚を育てていました。春を迎える前に町立幼稚園の園児を招いて川に稚魚を放流しました。

また、サケが遡（そ）上する10月の最終日曜には、組合事務所でサケ祭りが開かれました。熊川で獲れたサケやイクラ、サケのみりん干しを販売し、好評を得ていました。

組合員の多くは農家で、それぞれ稲刈りを終えて休む間もなくサケ漁に汗を流していました。



サケ祭り会場のサケ販売所は漁協の事務所を兼ねていました



「後世へ」6年ぶり稚魚放流

東日本大震災でふ化場と組合事務所は壊滅。原発事故による全町避難が続き、ふ化事業は中断されたままです。最後に稚魚を放流したのは、震災があった平成23年3月です。4年で生まれた川に戻ってくるといわれるサケですが、震災から5年以上が過ぎても熊川のサケが絶えることはありませんでした。しかし昨年以降、その数は激減しているそうです。

昨年3月、熊川漁協は6年ぶりに稚魚放流を再開しました。その数は震災前の1％に満たない約5万匹でした。

また11月には、ふ化再開を視野に試験的にサケを捕獲しましたが、採卵はできませんでした。漁協では今後も取り組みを継続し、サケが還る熊川を後世に残したいとしています。


昨年３月の稚魚放流。防護服姿で作業しました


町への要望書を提出した小畑組合長はじめ関係者

失われたふ化施設再建を

サケふ化施設の再建に向けて熊川漁協は昨年12月1日、町に支援を要望しました。小畑功組合長は「遡上数が年々減っていて、このままではほとんど上がらなくなってしまう」と危機感を訴えました。少人数で効率的にサケを捕獲できるインディアン水車（※）の導入なども要望しました。

渡辺利綱町長は「サケ漁は昔から続く町の大事な産業で、サケが戻る熊川の風景は町民の癒し。ぜひとも継承しなければならない」と答えました。

熊川漁協は今後、ふ化場再建の計画案をまとめる方針です。

※川に遡上するサケを捕獲するためのアメリカ発祥の設備。捕魚車ともいう。水車のかごにサケが入ると回転し、サケがすくい上げられる仕組みになっている

思い受け継いで

熊川漁業協同組合　前組合長　末永精一さん（81）

大熊町の産物といえばナシとサケとキウイ。特に秋、熊川の河口にサケの大群が押し寄せる光景は圧巻でした。私は平成9年から昨年6月まで熊川漁業協同組合の第6代組合長を務め、サケが還る熊川を守ることに力を注いできました。

県内でサケが遡上する川は10河川あり、熊川の漁獲量は木戸川、泉田川に次いで3番目でした。毎年、10月最後の日曜には「サケ祭り」を開き、集まった町民にサケ料理を振る舞って祝いました。学校給食にも採り入れてもらいました。

川沿いにふ化施設があり、秋に捕った卵を育て、春を迎える前に放流していたので、一定の数量を保っていました。震災と原発事故があった平成23年にも稚魚を放流しましたが、その後の全町避難で5年間放流できませんでした。しかし、この間にもサケは途絶えることなく熊川に帰ってきました。他の河川から迷い込んだものや自然ふ化のものだと思われます。ただ、その数は激減しています。このままでは、熊川にサケが上らなくなってしまう恐れもあります。

昨年3月、6年ぶりに放流を再開しました。県内の他の漁協から調達した約5万匹の稚魚です。震災前の1パーセントにも満たない量ですが、大きな一歩だと思っています。漁協では今年、4倍の20万匹を放流する予定です。サケが還る熊川は私たちが引き継いだもので、後世にも残したい。これから町の復興に携わる皆さんにも、思いを受け継いでほしいです。



最も大きかったサケの魚拓を取っておいた末永さん

記憶は消えない

サケ食堂を運営　三川マサ子さん（78）
夫 良男さん（80）

平成に入った頃でしたか、漁協事務所で「サケ食堂」が始まり、私ともう一人が切り盛りを任されました。サケ漁が行われる2か月だけの期間限定で、最初の頃は物珍しさもあって繁盛しました。予約しないと食べられないほどで、東京から来るお客さんもいました。

メニューはサケ定食一品だけ。サケご飯、イクラの酢の物、サケフライ、サケの塩焼き、サケのあら汁、漬物が付いて1000円でした。サケご飯はお替り自由で、イクラを好きなだけのせられるようにしていました。客席は30人ほど入ったでしょうか。サケ祭りには、イクラを山ほどかけた350円のサケ弁当を販売していましたが、大人気で製造が追い付かず、他の奥さんにも協力してもらって早朝から準備したものです。

サケ食堂は年々客足が減り、厳しい経営でしたが、自宅から野菜を調達したりして続けました。組合員の食事も用意しました。サケがたくさん獲れると「千本祝いだ」といって寿司を囲んだり、一世帯に一本ずつサケを配ったりしたこともありました。みんなでサケを獲って、お客さんと触れ合って、本当に楽しかった。今でも思い出します。

事務所も自宅も津波で流され、サケ食堂の写真や資料はすべて流されましたが、記憶が消えることはありません。もう10歳若ければ、再び熊川でサケ食堂をしたい、と言えるのですが。熊川のサケを残したいという漁協の皆さんの思いには、感謝の言葉しかありません。見守っていきたいです。


自宅の写真を見ながらとサケ食堂を振り返る三川さん夫妻



熊川漁協から



熊川漁業協同組合　組合長

小畑功さん（58）

昨年６月、末永精一さんから組合長を引き継ぎました。まだ慣れない点が多々ありますが、精いっぱい務めたいと思います。

全町避難が続き、かつてサケ漁をした熊川は帰還困難区域です。稚魚放流の中断により、遡上するサケの量は激減しています。しかし、おそらく私たちは先祖代々、熊川でサケを獲り、暮らしの糧にしてきました。そして、大海の旅を終えたサケが熊川に戻る様子は、私たちにとってふるさとの風景そのものです。ここで絶やすわけにはいきません。

昨年12月、漁協は町に対し、壊滅した施設の再建への支援を求めました。町からは漁協と協議の上でサケに関する事業に取り組むとの回答を受けました。

これをふまえ、今後の計画をしっかりと立て、サケ事業の存続に全力で取り組みます。

町民の皆さんには今後とも、漁協の活動に温かいご支援をお願いします。

町から

熊川でのサケ漁に関し、町は熊川沿岸に整備する予定の復興祈念公園の建設時期に合わせ、ふ化場とやな場の建設も検討していく方針です。

一方、熊川のサケ事業を継続する上で、後継者不足が課題となっています。このため、運営を再開した楢葉町の木戸川漁協と連携して担い手育成、ふ化技術習得を行うよう、熊川漁業協同組合に提案しました。

まちの話題

TOWN TOPICS

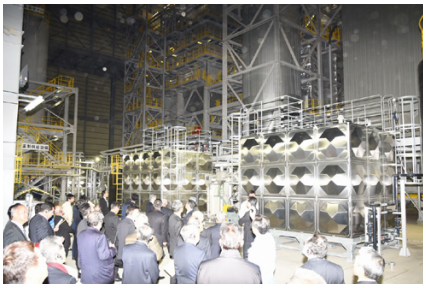


仮設焼却施設が完成

町内の廃棄物を減容化処理



２月から本格稼働する仮設焼却施設



焼却炉などが入る施設内

大熊町内で出た震災廃棄物や家屋解体、除染廃棄物を減容化処理する仮設焼却施設が町内小入野地区の中間貯蔵施設建設予定地内に完成し、12月７日に現地で火入れ式が行われました。

施設は焼却炉や排ガス処理施設などが入る建物と、焼却灰を保管する建物に分かれ、処理能力は一日 200 トンです。排ガス中の放射性物質濃度を連続監視し、施設の遮へい設計により放射性物質の飛散を防ぐなど放射線管理が徹底されています。

今後は試運転を経て２月に本格稼働し、2022年３月まで運用する予定です。建設した環境省は、町内の廃棄物を優先して処理した後、中間貯蔵施設で発生した廃棄物の焼却も行う考えです。

野上１区が除染で要望書



特定復興再生拠点区域から外れた区域の除染時期を示してほしいとして、野上１区が町に要望書を提出しました。要望は 79 人の署名付きで、11 月 28 日に木幡仁区長が石田仁副町長に手渡しました。国は帰還困難区域すべての避難指示解除を明言しており、要望では個人宅の除染だけでも他地域に合わせて実施することも求めました。



素敵な思い出 はとバス交流

おおくまはとバス交流会が 12 月３日行われ、80 人余りが都内の観光コースを楽しみました。皇居や国会議事堂周辺をドライブした後、ホテルでビュッフェ形式の昼食を食べました。六本木ヒルズの展望台を訪れたほか、クルーズ船で東京湾を巡り、大満足の一日となりました。

ひまわりプロジェクト発足

有志44人、会員を募集中



方針や事業を確認した設立総会

ヒマワリを通じて町の復興に貢献することを目的とした「大熊町ひまわりプロジェクト」が発足し、12月11日に設立総会が開かれました。震災以降、ヒマワリを通じて沖縄県との交流が続いており、町内の組織を明確化し、ヒマワリ畑の整備を通じた農地保全、町民の心の癒しなどを一層進めることが目的です。会員は有志44人で、会長に根本友子さんが選ばれました。

会では種まきやヒマワリの手入れなどを一緒に行ってくれる会員を募集しています。

池田さんに瑞宝単光章

秋の叙勲・前消防副団長

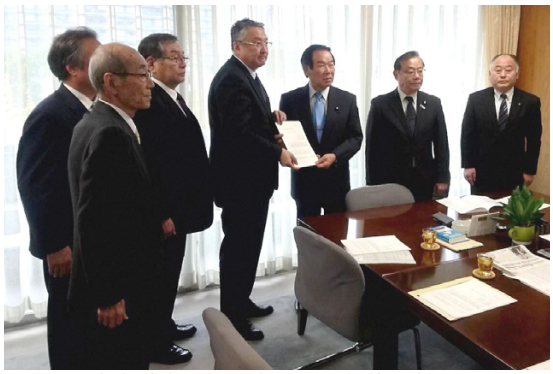


瑞宝単光章を受けた池田さん（中央）

町消防団の前副団長・池田政典さん（68）が昨年秋の叙勲で瑞宝単光章を受章しました。池田さんは昭和47年に消防団員となり、平成18年から27年まで副団長を務めました。12月13日、受章報告のため町役場会津若松出張所を訪れた池田さんは「これまで支えてもらった仲間や家族のおかげです」と述べました。渡辺利綱町長は「長い間本当にごくろうさまでした」と、40年以上にわたる功績をたたえ、労をねぎらいました。

家賃賠償で自民党に要望

町と県など、適切な対応



額賀本部長に要望した副知事と首長

原発事故に伴う家賃賠償が今年3月で打ち切られることについて、県と大熊町など4町は実情に応じた適切な対応を東電に働きかけるよう、自民党復興加速化本部に要望しました。災害救助法に基づく支援は来年3月まで延長されたため、住民間に格差が生じる恐れがあります。12月4日、渡辺利綱町長が鈴木正晃副知事や各町長とともに額賀福士郎復興加速化本部長に要望しました。額賀本部長は同月、東電に対し、適切な対応を取るよう要請しました。

来月、沖縄ツアー！

～参加者募集中です～

大熊町ひまわりプロジェクトは2月17日（土）から20日（火）まで沖縄県を訪れて交流への理解を深めるツアー「北中城村とひまわりがつなぐ交流事業」を実施します。現在、参加者を募集しています。

■行程（料金）
①離島コース（158,000円）
②本島コース（126,000円）
※いずれのコースも最終日に北中城村の「ひまわり祭」を見学します
定 先着40人
対 希望者ならどなたでも
期 1月17日（水）まで

問 大熊町ひまわりプロジェクト事務局
（町役場いわき出張所　産業建設課）
☎ 0246-36-5671



夫沢１区長　杉本征男さん（76）

写真のことはずっと気にかかっていました。地震で鴨居からずれ落ちそうになっていましたが、すべて無事でした。集会所自体も建てられたばかりでしたから、きれいなものです。でも、いずれ中間貯蔵施設のために壊されてしまう。写真ががれきの中でぐちゃぐちゃになるなど忍びないことです。

昨年、区の総会で「写真を家族に返したい」と提案し、区長一任を取り付けました。避難後の荒廃や動物被害などで家が汚れ、写真を持ち出せない人がいるかもしれない。無理に返すつもりはありませんが、希望される家族には届けたいと思いました。たとえ集会所が残ったとしても、周りに家はなくなるのです。何もない所に残しておくよりも、あるべき場所に戻すべきだと考えたからです。

私は富岡町の出身で、大熊町の自宅は小入野行政区との境にあります。昔、行政区再編の際、どちらの区に属するか決めなければなりませんでしたが、みんなに「夫沢に残れ」と言ってもらい、ずっと夫沢１区でお世話になってきました。「よそから来たのにこんなに」と思うほどよくしてもらってきたことに感謝しています。

今、行政区内の86世帯はバラバラです。でも、震災に遭ってむしろ親しみは強くなった気がしています。みんなが高齢になり、昔のようにいかないこともありますが、私が区長である間は年に１度は総会を開いて、みんなの顔を見たいと思っています。

3.11の緊迫、今も
県立大野病院で資料収集







（右写真）地震のあった時刻で止まった時計
（下右写真）床に敷かれたままの布団
（下左写真）大地震を伝える3月12日付の朝刊

大熊町の県立大野病院で11月22日、県と福島大による震災資料の収集活動が行われ、2011年3月12日付の朝刊や地震発生時刻で止まった時計などが回収されました。

双葉町に整備を計画している「東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設」に保存・展示する目的で公共施設や個人所有の資料を集めています。担当者はロビーのある「外来棟」と呼ばれる部分に立ち入り、資料を探したり映像に収めたりしました。

同病院では震災当日、約40人の入院患者を屋外に避難させた後、安全のため平屋の外来棟に集めて夜を明かしました。地震や津波による傷病者の治療も、同じ外来棟で対応しました。

棟内は震災直後の緊迫感が今なお残ります。床の至るところに書類や医療用品が散乱し、入り口近くのホワイトボードに急患の氏名や年齢、症状が貼り出されていました。廊下やリハビリ用の部屋には布団が敷かれたままで、炊き出しを行った跡も生々しく残っていました。

おもいで拝見　～特別編～

皆さんが大切にしている品、懐かしい場所を紹介していただきました

集会所の写真

東日本大震災からさかのぼること約1年。夫沢1区地区集会所は平成22年3月28日に竣工しました。その際の記念に当時の行政区長が13代にわたる歴代区長の写真を額縁に収め、寄贈しました。しかし、その後の東京電力福島第一原発事故で夫沢1区は帰還困難区域となり、さらにその後、全域が中間貯蔵施設の建設地に含まれました。昨年11月28日、集会所に町の個人文化財レスキューが入り、現行政区長の杉本征男さん（76）は歴代区長の写真を持ち出すことにしました。国の放射線管理上の文化財持ち出し基準（1,300cpm未満）を満たすことを確認した上で、ビニール袋に包まれて持ち出された写真の「おもいで」を特別編として紹介します。





※皆さんの「おもいで」も教えてください　問 大熊町役場会津若松出張所　企画調整課

住民意向調査にご協力ください

町では、復興庁、福島県と共同で住民意向調査を実施します。

これは、町民の皆さんの現時点での帰還意思や避難先での暮らしなどを聞かせていただき、今後のまちづくりの参考とするために実施するものです。

１月上旬に調査票を発送します。調査結果はまとまり次第公表し、まちづくり施策を進める上での基礎資料とさせていただきます。

避難先活でご不便をおかけしているところ、度重なる調査となりおそれ入りますが、ご協力をお願いします。

■調査実施主体

復興庁、福島県、大熊町

■調査の方法

郵送による配布・回収（記名式で実施）

■回答をお願いする方

震災時に住民登録をしていた世帯（分散して避難されている場合は、それぞれの避難先にお送りしますので、避難先の代表者がご回答ください）

■提出期限

１月 18 日（木）まで

問復興庁「住民意向調査」問い合わせセンター

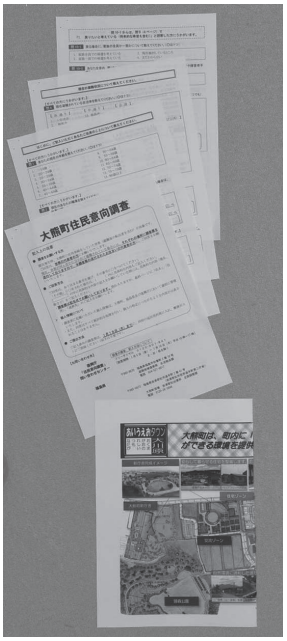
☎ 0120-901-841

※１月５日（金）～ 18 日（木）

平日午前 10 時～午後５時

大熊町役場会津若松出張所

企画調整課



この調査票が「復興庁・福島県・大熊町」連名の封筒に入って各世帯に届きます

大川原に整備する交流ゾーンへのご意見をお聞かせください

座談会を開きます



町では町内大川原地区の復興拠点に、敬老会や成人式などを開ける多目的ホールや商業施設などを備えた「交流ゾーン」を整備します。これに先立ち、町民の皆さんの希望をうかがう座談会をいわき市で開催します。

対象は、平成 27 年度の「大熊町住民意向調査」で、町に「戻りたいと考えている」、「判断がつかない」、もしくは「戻らないと決めているが、町とのつながりを保ちたい」と答えた方です。対象の方には、１月上旬頃、個別にご案内を郵便しますので、日程などをご確認の上、参加の可否を同封の返信用封筒でお知らせください。

多くの方に「行ってみたい」「使いたい」と感じてもらえる交流ゾーンにするためのご意見をいただきたいと考えています。皆さまのご参加をお待ちしています。

問大熊町役場会津若松出張所　企画調整課

町立幼小中の今後について

町総合教育会議から

昨年11月24日、第２回大熊町総合教育会議（※）が町役場会津若松出張所で開かれ、これからの町教育をどうすべきか、現時点で町長と町教育委員会の考えを明らかにしました。ここで改めて要点をお伝えします。

問大熊町役場会津若松出張所　教育総務課

※大熊町総合教育会議
町長と５人の町教育委員で構成し、町の教育に資する総合的な施策の大綱、教育を行うための諸条件の整備などを協議する。会議は町長が招集し、議長となって進める。会議は原則公開する

2022年春目安に町内で再開

- 町内大川原地区内で、帰還困難区域内の特定復興再生拠点区域の避難指示が解除される2022年春を目安に学校を再開
- 大熊町ならではの特色ある教育を実現するため、幼小中一貫校を想定
- 大川原地区に除染して活用できる既存施設がないため、新たに校舎の建設を検討
- 子どもが安全に学ぶためには放射線量の管理、保護者の雇用確保も必要となるため、対応に努める

熊町小と大野小を統合

- 町内で学校を再開するまでの間、会津若松市内の町立幼稚園・小中学校は継続し、町内で再開後はスムーズに接続できるよう対応。児童数減少による学校運営への影響が懸念されているため、現在同じ校舎で続けている熊町小と大野小を、2019年度末を目安に統合
- その後の会津若松市内の町立幼小中をどうするかについては、保護者や関係者の皆さんの声を聞きながら検討

大熊町未来教育推進協議会

- 来年度、町教育の今後のあり方について議論する大熊町未来教育推進協議会（仮称）を設置。構成メンバーは学校関係者や児童生徒、保護者の代表者などを想定
- 幼小中一貫校の規模、体制、校名など町内で学校を再開するための具体策などを検討
- 保護者をはじめ町民の皆さんからもご意見やご要望を伺い、柔軟に対応

これからの教育方針

町内の帰還困難区域を除染して避難指示解除を目指す計画が昨年11月に国の認定を受け、2022年春までに一部区域の避難指示が解除される見通しとなりました。これに先立ち、来春をめどに町役場庁舎が町内大川原地区に開所し、町内で帰還への動きが加速することが想定されます。

こうした中、町内に学校がなければ町民の帰還にブレーキがかかってしまう恐れがあります。そこで2022年春に町内で学校再開を目指すという方針をまとめました。

町が町として存続するためには、町の将来を担う子どもを育てる学校が不可欠です。大熊町の学校で学びたい子ども、学ばせたい保護者がいる限り、質が高く魅力ある教育の機会を提供する、その思いのもとで今後の学校教育のあり方を検討していきます。

具体的には、これまでの大熊町の教育を継承・発展させます。読書活動を土台に、「社会力」、失敗からの回復力（レジリエンス）、人工知能（ＡＩ）との関わりなどを教育に組み入れます。また、世界的潮流となっている幼児教育の充実にも力を入れます。

（大熊町教育長・武内敏英）

大熊町臨時職員登録者を募集します

平成30年度に採用する臨時職員を登録制度により募集します。

この制度は、大熊町で臨時職員として働くことを希望する方に、あらかじめ希望する職種などの条件を登録していただき、町で臨時職員が必要になったときに登録者名簿の中から条件に合う方を選考し、審査後採用するものです。

なお、登録されても必ずしも採用されるとは限りませんので、ご了承ください。

問大熊町役場会津若松出張所
総務課行政係

■登録職種
①一般事務補助
②学校図書館司書
③小・中学校、幼稚園用務員
④幼稚園教諭（要資格）
⑤特別支援学級担任補助
⑥介護事務（要資格）
⑦保健衛生業務補助（要資格・年齢制限なし）
⑧受付・電話交換業務
⑨清掃・駐車場整理業務
⑩公用車運転手
⑪文化財保護協力員（大熊町内での作業）
⑫公益立入・通過交通事務補助

■勤務地（会津若松出張所に職員駐車場はありません）
・会津若松市…①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
・いわき市…①⑥⑦⑫
・郡山市…①
・大熊町…①⑪※
※⑪は作業のある日に大熊町内に立ち入ります

■受付期間
1月4日（木）から2月28日（水）まで（土・日・祝日を除く）午前8時30分から午後5時15分まで
※期限を過ぎても随時受け付けます

■登録資格
・登録日現在18歳以上で高卒以上
・自分で通勤できる方（駐車場の確保は各自対応）

■登録の有効期間
4月1日から平成31年3月31日まで

■雇用期間・条件
・4月1日以降6か月以内
（ただし、必要と認めるときは更新する場合もあります）
・勤務時間は原則、町職員に準じる

■登録方法
「大熊町臨時職員登録申込書」を大熊町役場会津若松出張所総務課行政係へ提出し、登録してください（資格免許等が必要な職種は、証明するものの写しを添付してください）。

「大熊町臨時職員登録申込書」は、各出張所および連絡事務所に備え付けてあります。郵送で請求する場合は、封筒の表に「臨時職員登録申込書請求」と朱書きし、82円切手を貼った宛先明記の返信用封筒を同封のうえ、大熊町役場会津若松出張所総務課行政係へ請求してください。

なお、町ホームページからもダウンロードできます。

福島広域雇用促進支援協議会から

■自分再発見セミナー
就職活動にお悩みの方へ、世代で異なる悩みにアプローチ！
時1月24日（水）
・40代までの再発見セミナー
午前10時～正午
・50代からの再発見セミナー
午前10時～正午
場ビッグパレットふくしま
マルチパーパスルーム1・2
定各20人程度
期1月19日（金）まで

■行くしかない!!
合同就職面接会 in 郡山
予約不要、入退場自由、履歴書不要です。
時1月24日（水）午後1時～5時
受付開始午後0時30分
※企業プレゼン（イベントのみ先着70人）
場ビッグパレットふくしま
（郡山市南2丁目52番地）
※雇用保険受給者は求職活動実績になります。参加証明書を発行します

■職場体験実習“大人のインターンシップ”
●実習期間
1～3日（見学だけでもOK）
●実習時間
実習先の所定労働時間内（8時間以内）
●実習内容
実習先事業所が営む業務の体験
●実習先
職場体験実習登録事業所
問福島広域雇用促進支援協議会
福島統括窓口（みんゆうビル202号）
☎024-524-2121

お引っ越しされる方へ



役場に届け出ていた避難先を変更される際は、新しい避難先をお知らせください。届け出は会津若松出張所住民課、いわき出張所、中通り連絡事務所の各窓口で受け付けています。手軽にできる郵送や電話での届け出も受け付けています。

■郵送の場合

役場にある「避難住民届」を記入して送るか、次の項目を記載したメモを送ってください。

1. 記入者氏名
2. 大熊町の住所
3. 対象者の氏名、生年月日
4. 避難先住所
5. 避難先の滞在開始日（住み始めた日）
6. 電話番号および所有者名
7. 広報おおくまの送付を希望するかどうか

■電話の場合

会津若松出張所住民課までお電話ください。職員が必要事項をお尋ねします。

問大熊町役場会津若松出張所
住民課　避難者名簿係

なお、仮設住宅、借上げ住宅を退去する場合には、「仮設住宅等使用終了届」を提出してください。

問大熊町役場会津若松出張所
生活支援課
大熊町役場いわき出張所
生活支援係

障害者控除の認定書を交付します

町では、要介護認定者の方を対象に「障害者控除対象者認定書」を交付します。

身体障害者手帳、療育手帳等の交付を受けていない方でも、要介護認定を受けている65歳以上の方であれば、この認定書を確定申告の際に提出することで、税の控除を受けられます。

※税申告用の書類のため、身体障害者の認定とは異なります

■対象

65歳以上で、町から要介護認定を受けている方

※基準日は平成29年12月31日現在（年の途中に死亡した場合は死亡した日）

■認定区分

・障害者控除対象→要介護1～3
・特別障害者控除対象→要介護3～5

※要介護3の方は訪問調査票の日常生活自立度で認定の程度が変わります

■控除額

○障害者
・所得税　27万円
・住民税　26万円
○特別障害者
・所得税　40万円
・住民税　30万円

■申請方法

町役場いわき出張所健康介護課または会津若松出張所福祉課で申請できます。

遠方の方や電話等でお問い合わせいただいた方には、申請書を送付します。

必要事項を記入の上、健康介護課へ郵送で提出してください。

郵送の場合、認定書は申請書到着後1週間程度で送付します。

※申請書は、町公式ホームページからもダウンロードできます

問大熊町役場いわき出張所　健康介護課　介護保険係

各種証明書のコンビニ交付サービス一時停止します

システム保全作業のため、全国のコンビニエンスストアで行っている各種証明書の交付サービスを、次の期間一時停止します。住民票の住所が町外で本籍が大熊町内にある方の事前の利用登録申請サービスも一時停止します。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

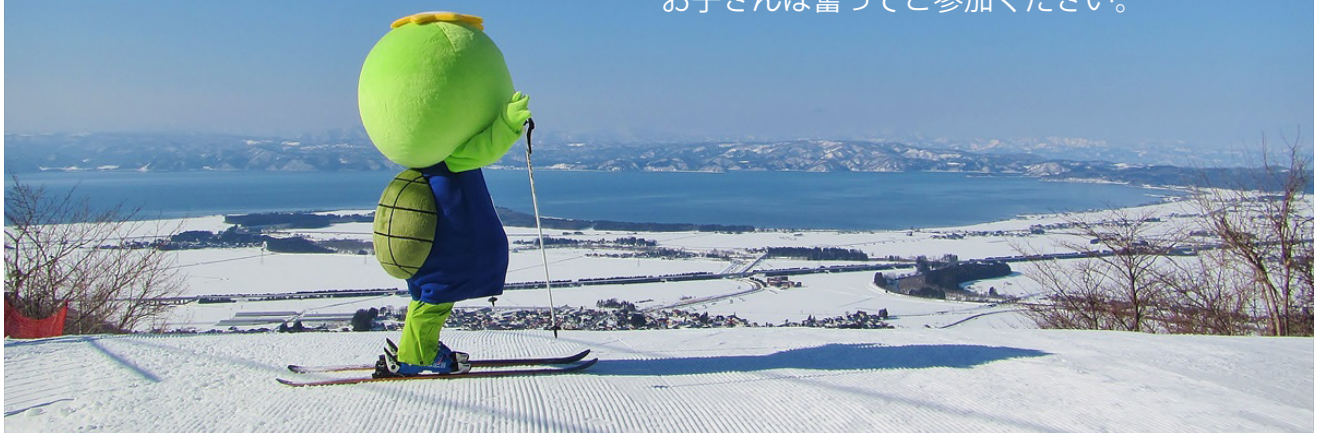
■サービス停止期間

1月11日（木）　午後5時～午後11時

問大熊町役場会津若松出張所　住民課

大熊町スキー・スノーボード教室
7年ぶりに開催します

冬恒例のイベントだったスキー・スノーボード教室が7年ぶりに復活します！町のお子さんは奮ってご参加ください。



■種目
スキー、スノーボードのどちらを希望するか、申込書に○を付けてください。

■交通手段
送迎バス乗車の有無を（会津、いわき、なし）から選び○を付けてください。

※出発予定時刻は、町役場いわき出張所が午前7時30分、会津若松出張所は午前8時

時 2月25日（日）午前9時受付

※詳細は申し込み後にご案内します

場 リステルスキーファンタジア（猪苗代町川桁天王坂2414）

対 小学生以上の町民の方

※小学3年生以下は保護者同伴

定 50人（定員になり次第締め切り）

費 1,000円（昼食代、傷害保険料等。レンタルの場合は別途費用がかかります）

申 参加申込書に必要事項を記入の上、1月31日（水）午後5時まで電話、郵送またはFAXで

持 帽子、手袋、ゴーグル

問 大熊町役場会津若松出張所 教育総務課

FAX 0242-26-3786

※郵送またはFAXでお申し込みの方は、このページをコピーしてご使用ください

平成29年度大熊町スキー・スノーボード教室参加申込書

氏名	年齢	現住所（避難先）	連絡先	種目	バス乗車
				スキー・スノーボード	会津・いわき・なし
				スキー・スノーボード	会津・いわき・なし
				スキー・スノーボード	会津・いわき・なし
				スキー・スノーボード	会津・いわき・なし

消防署から

新年お祝い申し上げます。本年もより一層の火の用心をよろしくお願いします。 皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

年始から火災予防を心がけましょう

この季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすいです。火災はいつどこで起きるか分かりません。素晴らしい一年にするため、火災予防を徹底しましょう！

冬に気をつけたい病気

冬は空気が乾燥します。夏はスポーツドリンクなどで水分を補給しますが、冬は温かいお茶やコーヒーを飲む人が多いのではないでしょうか？種類によりますが、お茶やコーヒーには利尿作用があり、知らぬ間に脱水となり、血液内の水分が低下し心筋梗塞や脳卒中などになる危険があります。小まめな水分補給や室内の加湿をして対策をとりましょう。

窒息事故にご用心

年末年始は、もちなどによる窒息事故が多くなります。年間を通じて「不慮の窒息」による死亡者数の85%以上を65歳以上の高齢者が占め、特に1月は約90%です。不慮の窒息事故を防ぐためには周りの方の協力も必要です。特に高齢者がいるご家庭は、もちを小さく切ったり、食事の様子を見るなど注意しましょう。

問浪江消防署　☎0240-34-7360
富岡消防署　☎0240-25-2119

町内の大野小に荷物がある方
3月に取り出せます





町内の帰還困難区域のうち、下野上地区の先行除染エリアの除染作業がこのほど終了し、大野小学校への一時立ち入りが可能となりました。

これに伴い、震災時に通学していた児童の校舎内にある荷物等が取り出せるようになりました。次のとおり荷物等の取り出しを行いますので、参加を希望する方はお申し込みください。

なお、立ち入り当日に15歳未満の方や妊娠中の方は参加できません。

時3月2日(金)～3月4日(日)
午前10時～午後2時
場大野小学校（大熊町大字下野上字清水230）
対震災時大野小学校に通学していた児童と保護者
期1月19日（金）まで
問大熊町役場会津若松出張所
教育総務課

■立入手続

マイカーでの立ち入りとなりますので、各自一時立ち入りの手続きをしていただきます（ただし大川原、中屋敷地区の町民の方は公益立ち入りとなりますので、お申し込み後に詳細をご連絡します）。

県障がい者芸術作品展「きになる ひょうげん」募集

福島県では、県障がい者芸術作品展「きになる ひょうげん2017」を開催します。

気になったことやこだわりから生まれた表現、見た人がなんだか気になってしまう作品をご応募ください。

■応募資格

本県出身または在住の障がいのある方等（共同制作も可）

■応募作品

絵画、書道、工芸などの表現のジャンルは問いません。平面および立体作品など展示が可能なもので、1人3点まで応募可。

■応募条件

応募された作品および作者の情報は、作品展への展示、情報誌、メディアなどへの作品画像の提供について同意いただけること。

※本名の掲載が難しい方などは、ペンネームの使用も可能

■応募期間

2018年1月19日（金）まで郵送（消印有効）

問社会福祉法人安積愛育園
はじまりの美術館
☎0242-62-3454
※午前10時～午後6時（火曜休館）

所得申告相談会を開催します

問大熊町役場いわき出張所　税務課

町では平成 29 年度の所得申告相談会を開催します。

平成 28 年分以降の確定申告書を提出する際は、個人番号（マイナンバー）を記載し、本人確認書類の写しを税務署に提出する必要がありますので、次の書類を忘れずにご持参ください。

・個人番号カード（マイナンバーカード）
・（個人番号カードをお持ちでない場合）番号確認書類と身元確認書類各 1 点

※番号確認書類とは通知カード、住民票の写しなどです。身元確認書類とは運転免許証、保険証、パスポート、身体障害者手帳、在留カードなどです

日にち	会場		※受付行政区
2月 15 日（木）	いわき市	大熊町役場いわき出張所 2 階多目的ホール ※ 17 日（土）は午前 11 時まで受付	中屋敷、野上 1 ～ 2、野馬形
16 日（金）			下野上 1
17 日（土）			中屋敷、野上 1 ～ 2、大野 1 ～ 2、野馬形、小入野、下野上 1 ～ 3、大川原 1 ～ 2、熊川
19 日（月）	いわき市	大熊町役場いわき出張所 2 階多目的ホール ※ 24 日（土）は午前 11 時まで受付	下野上 2、夫沢 1
20 日（火）			下野上 3、町
21 日（水）			大野 1 ～ 2
22 日（木）			熊 1
23 日（金）			大川原 1 ～ 2、熊 2
24 日（土）			熊 1 ～ 3、町、大和久、夫沢 1 ～ 3
27 日（火）	会津若松市	福島県ハイテクプラザ 会津若松技術支援センター 多目的ホール	中屋敷、野上 1 ～ 2、大野 1 ～ 2、野馬形、小入野
28 日（水）			下野上 1 ～ 3、大川原 1 ～ 2、熊川
3月 1 日（木）			熊 1 ～ 3、町
2 日（金）			大和久、夫沢 1 ～ 3
6 日（火）	郡山市	ビッグパレットふくしま 4 階プレゼンテーションルーム	中屋敷、野上 1 ～ 2、大野 1 ～ 2、野馬形、小入野
7 日（水）			下野上 1 ～ 3、大川原 1 ～ 2、熊川
8 日（木）			熊 1 ～ 3、町
9 日（金）			大和久、夫沢 1 ～ 3
12 日（月）	いわき市	大熊町役場いわき出張所 2 階多目的ホール	熊 3
13 日（火）			熊川、小入野
14 日（水）			大和久
15 日（木）			夫沢 2 ～ 3

受付は午前9時～午後3時（土曜の受付は午前11時まで）

※行政区ごとに受付日を割り当てていますので、なるべくあてはまる日にお越しいただきますよう、ご協力をお願いします。
※開場時間は午前 8 時 30 分（いわき出張所は午前 8 時）です。早く到着されても、開場時間後に受付簿にお名前をご記入いただき、受付時間になるまでお待ちいただきますので、ご了承ください
※受付時間中は、対応可能な職員が受付簿の順にお名前をお呼びします。お呼びした際に不在の場合は次の順番の方をお呼びしますので、職員がお呼びするまでお待ちください

譲渡所得を申告する方へ

譲渡所得の申告をする方は、必要書類をあらかじめご確認の上お持ちください。一般的な譲渡の場合の必要書類は表のとおりですが、1 回の来場では申告が完了しない場合もありますので、最寄りの税務署等での申告もご検討ください。

※受ける特例によっては、表以外の書類が必要となる場合がありますので、あらかじめ税務署等にご確認ください

一般的な譲渡の場合	必要書類
譲渡価額（資産を譲渡して受け取った金額）がわかる書類	売却時の契約書等
取得費（譲渡した資産を取得した時の価格）がわかる書類 ※取得した際の仲介手数料や登記費用も含まれます ※相続等により取得費が不明な場合は必要ありません	売却した資産を購入した時の契約書や、領収書等
譲渡費用（仲介手数料や登記費用など）がわかる書類	領収書等

収用（国や地方公共団体による買取り）の場合は以下の書類もご用意ください

支払額の内訳がわかる書類	収用証明書等一式

中間貯蔵施設に係る弁護士無料相談会

町では中間貯蔵施設の建設に伴い町民の皆さまが抱える不安や諸問題に対応するため、弁護士による相談会を開催します。当該施設建設に伴う権利関係等の疑問点について無料で相談できます。

【会津若松市】
時1月15日（月）
午後2時～5時
場大熊町役場会津若松出張所
【郡山市】
時1月17日（水）
午後2時～5時
場大熊町役場中通り連絡事務所
【いわき市】
時1月19日（金）
午後2時～5時
場大熊町役場いわき出張所

■相談できること
中間貯蔵施設建設に伴う契約、地上権、相続等について
※法律相談であり、補償価格に関する相談はできませんのでご了承ください

■対象者
大熊町内の中間貯蔵施設建設予定地内に不動産（土地、建物）を所有されている方

■相談料
無料

■相談時間
1回につき50分以内
（各会場3組までの事前予約制）

■申し込み方法
事前予約の先着順ですので、ご連絡をお願いします

■申し込み期限
各会場、開催日の1週間前までにお申し込みください

問大熊町役場会津若松出張所
企画調整課

相馬税務署から

問相馬税務署　☎0244（36）3111

平成29年分確定申告書へのマイナンバー記載について

税務署に所得税等の確定申告書を提出する際は、マイナンバーの記載と本人確認書類（番号と身元の確認できるもの）の提示または写しを添付する必要があります。

～本人確認書類の例～
・マイナンバーカード（番号確認と身元確認）
・通知カード（番号確認）＋運転免許証、健康保険の被保険者証など（身元確認）
※申告書作成会場に来場する場合は、本人確認書類を持参してください。確定申告書を郵送する場合は、本人確認書類の写しを添付してください

確定申告書の便利な作成法

所得税、消費税および贈与税の確定申告書の作成に当たっては、24時間利用でき、自動計算機能のある国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」が便利です。

作成コーナーで申告書を作成して紙に印刷し、税務署へ郵送等により提出することができます。申告書の計算誤りの防止、来場される納税者の皆さまのご負担も軽減できますので、ぜひご利用ください。

平成29年分については、平成30年1月中に掲載予定です。

国税庁ホームページはhttp：//www.nta.go.jp

平成29年分の所得税等の確定申告書作成会場

平成29年分の所得税（および復興特別所得税）、消費税および贈与税の確定申告期における申告書作成会場は、次のとおりです。

場相馬市振興ビル（相馬市中村字塚ノ町65の16）
時平成30年2月16日（金）～3月15日（木）
午前9時～午後4時
※土日は開設しません。申告書作成会場の開設期間前と開設期間中、相馬税務署内で申告書作成相談会場は設置しません

「確定申告のお知らせ」を持参してください

昨年、各申告相談会場で確定申告書を提出された方には、今年から確定申告書等の用紙（確定申告書、収支内訳書など）は送付されません。今後は確定申告書等の用紙に代わり予定納税額等の申告に必要な情報が記載された「確定申告のお知らせ」が送付されますので、各申告相談会場に来場する際は、ご持参ください。

一時立ち入りスケジュール

一時立ち入りする際には申し込みが必要です。実施スケジュールをご確認の上、コールセンターへお電話でお申し込みください（電話番号が変わりました。ご注意ください）。

なお、マイカーによる立ち入りは平成 29 年度から毛萱・波倉スクリーニング場での当日受付ができるようになりました。下記の「当日受付の注意点」をご確認の上、手続きを行ってください。

バスによる立ち入りは、各月のバス立ち入り初日の 1 か月前までにお申し込みください。

※実施スケジュールや最新の予約状況は専用ホームページ（http://www.ichijitachiiri.com/）でご覧いただけます

※立ち入り当日は必ず中継基地で受付を行ってください。中継基地で通行証、個人線量計、防護装備等をお渡しします。お帰りの際、中継基地でこれらを返却し、スクリーニングを受けていただきます

◆当日受付の注意点◆

- **当日受付は毛萱・波倉スクリーニング場に午前９時～正午までにお越しいただいた場合にのみ可能です（他の中継基地での当日受付はできません）。**
- **スクリーニング場スタッフに当日受付する旨と「問い合わせ番号」、世帯主の氏名をお伝えください。**
- **お盆、お彼岸の時期は当日受付できません。事前にお申し込みください。**
- **事前予約した方に比べ、受付に時間がかかる可能性があります。ご了承ください。**

【一時立ち入り受付コールセンター】

☎０１２０－２２０－７８８（フリーダイヤル）

■申込受付時間

平日……午前８時～午後８時

土日祝日…午前８時～午後５時

- **お彼岸は立ち入りの安全確保等の観点から、基地ごとの受付上限世帯数を設けさせていただきます。**
- **公益一時立ち入りのお申し込み・お問い合わせは、これまでどおり大熊町役場いわき出張所環境対策課にご連絡ください。**
- **資料の送付先を変更する場合は、必ずコールセンターに変更内容をご連絡ください。**

※年末年始（12 月 29 日～平成 30 年 1 月 3 日）は受付を休止します

※12 月 25 日～28 日、平成 30 年 1 月 4 日～8 日の申込受付時間は午前８時～午後５時です。ご注意ください

※予約時は問い合わせ番号をお伝えいただくと、手続きがスムーズに進みます。問い合わせ番号は各世帯固有の番号です

※立ち入り休止日にやむを得ぬ事情（命日による墓参立ち入り等）により立ち入りを希望する場合は、事前（2 週間～ 10 日前まで）に環境対策課へ直接ご相談ください

1月 2月

マイカーでの立ち入り

マイカー立ち入り　バス立ち入り　立ち入り休止

1月

日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
スクリーニング場	①津島活性化センター	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■
	②加倉	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■
	③高瀬	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□	□	■	■	■	■	□	□	□	■	■	■
	④中屋敷	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	⑤大川原	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■
	⑥高津戸	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■
	⑦毛萱・波倉	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■

2月

日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
曜日		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
スクリーニング場	①津島活性化センター	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■
	②加倉	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■
	③高瀬	■	□	□	□	■	■	■	■	□	□	□	■	■	■	■	□	□	□	■	■	■	■	□	□	□	■	■	■
	④中屋敷	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	⑤大川原	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■
	⑥高津戸	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■
	⑦毛萱・波倉	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□	□	□	■

【注意】
・中屋敷スクリーニング場は降雪や路面凍結時、出入りに危険を伴うため、平成30年1月19日（金）～3月17日（土）の間、受付しません。他のスクリーニング場をご利用ください
・気象状況により、やむを得ず中止することがあります

バスでの立ち入り

年	平成30年	
月	3月	
日	16	17
曜日	金	土
毛萱・波倉スクリーニング場	40世帯	40世帯
申し込み締切日	2月15日（木）	

お墓参りの際はお線香、ろうそくのご使用は控え、食べ物などのお供え物も持ち込みを控えてください。全町民が避難している中での火災は大規模化する恐れがあります。また、お菓子や果物などのお供え物は動物を呼び寄せ、食い荒らされるなど環境衛生面の問題があるためです。

新しいタブレットを使おう！

ARアプリ編

町のタブレット端末には、カメラをかざすと映像が飛び出して見える「ＡＲアプリ」が搭載されています。今回は、この機能を活用し、皆さんに渡辺町長の新年のごあいさつ動画をお送りします。

■トップ画面



■おおくまアプリのホーム画面

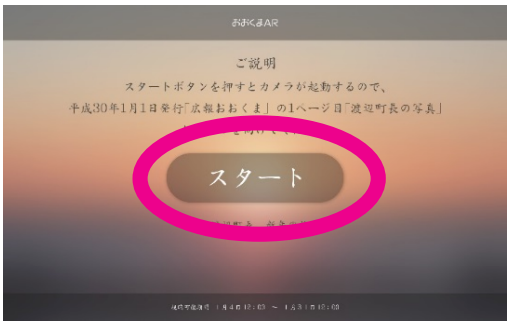


トップ画面から「おおくまアプリ」→「マルチメディア放送」→「ＡＲアプリ」とタッチします。ＡＲアプリの画面になりましたら「スタート」を押してください。

■マルチメディア放送の画面



■ ARアプリ



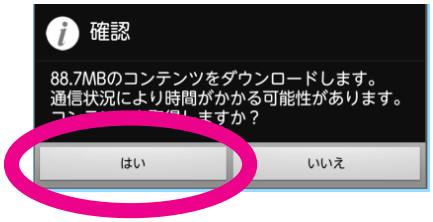
するとカメラが起動しますので、本紙２ページの渡辺町長の画像をかざしていただくと動画が再生されます。

※操作の途中、図のように確認画面が出た場合は「はい」を選択し、しばらくお待ちください

■ AR画像



■確認画面



１月の個別相談会・絆交流会

タブレットの使い方を懇切丁寧にアドバイスする「タブレット個別相談会」と、タブレット操作を通じて町民同士が交流する「タブレット絆交流会」を、１月も開催します。いずれも予約不要です。お好きな時間にお気軽にお越しください。

問おおくまアプリサポートセンター
☎ 0120-090-215（おおくまにいこう）（平日午前９時～午後６時）
※１月１～３日はお休みです

■タブレット個別相談会

日にち	場所
１月 ９日（火）	復興公営住宅年貢町団地　集会所
１月10日（水）	大熊町役場会津若松出張所　第２会議室
１月11日（木）	復興公営住宅城北団地　集会所
１月12日（金）	大熊町役場中通り連絡事務所　会議室１・２
１月16日（火）	松長近隣公園仮設住宅　第一集会所
１月18日（木）	復興公営住宅白虎団地　集会所
１月22日（月）	梨の実サロン平
１月23日（火）	復興公営住宅東原団地　集会所
１月24日（水）	復興公営住宅下矢田団地　集会所
１月25日（木）	渡辺町昼野仮設住宅　集会所
１月26日（金）	大熊町役場いわき出張所　２階多目的ホール
１月30日（火）	上神白仮設住宅　集会所
１月31日（水）	梨の実サロン平

※時間はいずれも午後１時30分～４時30分

■タブレット絆交流会

日時	場所
1月13日（土） 午前10時～正午	みらい平コミュニティセンター （茨城県つくばみらい市紫峰ヶ丘 4-4-1）
1月15日（月） 午後2時～4時	新横浜都市ビル９階市民フロアＢルーム （横浜市西区高島 2-18-1 そごう横浜店９階）
1月19日（金） 午後1時30分～ 3時30分	南相馬市民情報交流センター　中会議室 （南相馬市原町区旭町二丁目 7-1）
1月23日（火） 午後6時～8時	郡山市労働福祉会館　第一会議室 （郡山市虎丸町 7-7）
1月30日（火） 午後6時～8時	いわき産業創造館 (LATOV6 階) 会議室 2 （いわき市平字田町 120）
1月31日（水） 午前10時～正午	

スタンプをプレゼント！

おおくまアプリの掲示板「コミュニティ広場」で「今月のお題」にお答えいただいた方に素敵な特典スタンプをプレゼントします。今月のお題は「今年は●●をやるぞっ！」です。コミュニティ広場に新年のあいさつや今年の抱負を投稿してみませんか？皆さんのご投稿をお待ちしています！



また、限定スタンプも公開中ですので、この機会にぜひご活用ください。こちらはおおくまアプリの設定「ポイント交換」画面から手動での交換となりますので、ご注意ください。交換ポイントは30ポイント必要です。交換期間は１月31日までです。

ふるさとに対する想いや避難生活で感じていることなど、届けられた想いを共有し、「おおくま」と皆さまを「絆（きずな）」でつないでいくことができれば幸いです。
記者が避難先へ訪問し、インタビューした内容をもとに文章を作成します。
あなたも想いを伝えてみませんか？

問大熊町役場会津若松出張所　総務課秘書広聴係



茨城県日立市

髙野（たかの） 凌雅（りょうが）さん

震災当時は大熊中２年生。避難生活で家族と苦労を重ねた経験から「これからはなるべく両親に迷惑を掛けたくない」と思い、大熊中卒業後、企業学校に進んだ。現在は日立製作所のエンジニアとして多忙な日々を送る。

去年の大熊町成人式で新成人を代表して謝辞を述べた。

去年の成人式で「私たちが震災を通して学んだ人と人とのつながりを大切にしてこれから生きていこうと思います」と謝辞を述べました。私自身、震災を経験して、家族の温かさや、友だちの大切さに気付くことができたからです。成人式当日も、震災以来会っていなかった同級生と再会し、懐かしい話をしました。生まれ育った大熊町で成人式ができなかったのは寂しいことですが、この友人たちと出会えて本当に良かったと思いました。今でも月に１回程度、東京などで食事をしています。それぞれが置かれている環境は違いますが、こうして大熊の友人で集まれることに絆の深さを感じています。

大熊町の思い出は、空手とともにあります。幼いころに見ていた戦隊ヒーローの番組で、当時主役を務めていた俳優の方が空手をやっていました。それを見た私は、両親に「空手をやりたい」と言ったそうです。そこで母が大熊町で空手を習える場所を探してくれ、小学１年から「空手道スポーツ少年団」に入りました。一生懸命取り組んだおかげで、中学３年までに全国大会に６回出場することができました。私が取り組んでいた型競技は、決められた技をいかに美しく正確に力強く見せられるかを競うものです。空手を通して身につけた物事に向き合う姿勢は、大人になった今でも大切にしています。

震災以来、生活が一変した中で、働くということは本当に大変なことだと気付かされました。子どものころから自分が当たり前だと思っていた生活は、父が一生懸命働いてくれたからだと実感した時、本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。同時に、私もこれから先、結婚をして家庭を築いたときには、父のようになりたいと思いました。中学３年生の時に日立の企業学校を進学先に選んだのも、早く就職して一人前の大人になりたいという考えがあったからです。卒業後、日立製作所に就職し、現在は社会人３年目になりました。任される仕事も多くなり、なかなか自分の時間を持つことが難しいですが、忙しくも充実した日々を送っています。



絆 きずな おおくま ふれあい通信



会津若松市

箭内 朱里（やない しゅり）さん

震災当時は熊町小２年生で、現在大熊中３年生。町での記憶は少ないながらも、授業で昔の町の伝承について考えを発表した。

弟が入院した際、看護師の仕事を間近で見て憧れを抱いた。今は将来の目標に向かって日々、受験勉強を頑張っている。

大熊町での記憶はだんだん薄れていますが、とても住みやすい町だったと、私の幼いながらの記憶に残っています。これから先、他の地域での生活の方が長くなると思いますが、私の故郷はいつまでも大熊町です。兄に写真を見せてもらったことはありますが、震災以降は町に立ち入ったことがないので、実際に自分の目で見てみたいです。今後町が復興して、完全ではなくても以前の大熊町のような雰囲気に戻れば、また住みたい気持ちが湧いてくるかもしれません。

去年10月に行われた文化祭で「ふるさと創造学」の発表がありました。これから大熊町が復興を進めていく中でこんなことをしたらどうかという提案と、今の大熊町の人たちに昔のことを伝承しようという二種類のテーマがありました。提案の方では、スターバックスコーヒーを誘致したらどうか、全天候型の室内スキー場を作ったらどうかといったものから、釣り堀を作ったらどうかといったユニークなものまでありました。私は伝承のテーマで、以前の大熊町の様子を写真集にして残していこうという発表をしました。私には震災の1か月前に産まれた弟がいますが、大熊町の記憶はありません。そんな弟のような子どもたちに伝えるには、堅苦しい説明ではなく目で見てわかりやすいものがいいと考えたからです。もしそういうものがあれば、大人もページをめくる度に町のことを思い出すことができるのではないかと思います。

将来は看護師になりたいと思っています。以前、弟が病気で入院をした時に、看護師さんたちが働く姿を間近で見る機会があり、そのテキパキとした仕事ぶりはもちろん、優しく患者さんに接する姿が印象に残りました。入院している小さい子どもたちを笑わせたりしながら和やかな雰囲気をつくって看護をしていたことに感銘を受けました。病気の時は誰でも不安になると思いますが、そんな時にそばに寄り添って元気にしてくれる素敵な看護師さんたちでした。その姿を見て、自分がなりたい将来像をおぼろげながら描くことができました。もともと「人の支えになる仕事をしたい」という考えがあったので、患者さんだけでなく医師の支えにもなることができる看護師という仕事に魅力を感じています。



ふるさとかわらばん

町の今、お伝えします

問大熊町役場
会津若松出張所
☎ 0120-26-3844
いわき出張所
☎ 0120-26-5671

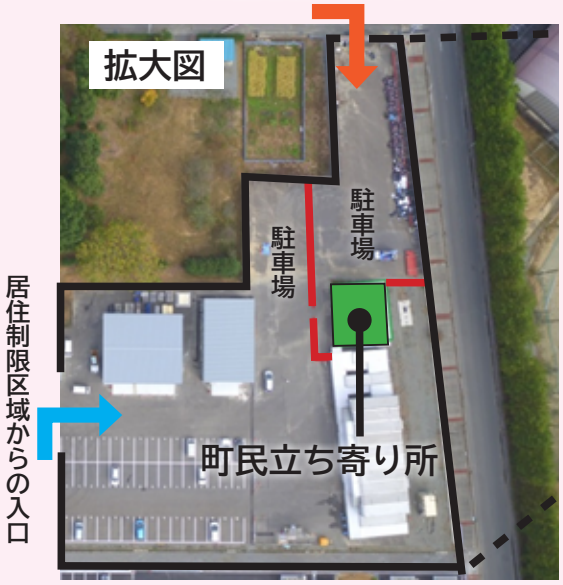
■清水地区の町民立ち寄り所について

清水地区の町民立ち寄り所では、トイレの利用や休憩することができます。

平成 30 年1月から、帰還困難区域（秋葉台ゲートまたは三角屋ゲートから立ち入りした場合）と居住制限区域（清水橋ゲートを通過した場合）の両方から利用することができます。

問清水・熊谷・東洋・竹中土木 JV
☎ 0240-31-1020

帰還困難区域からの入り口



○町民立ち寄り所ルート案内図



※清水橋ゲートは許可証なしで通行できます。
ルート沿いの道にはバリケードがあり、立ち入りはできませんのでご注意ください

■被災家屋の解体申請受付窓口

環境省では除染を実施している区域において被災家屋等の解体申請を受け付けています。

特定復興再生拠点整備計画の認定に伴い、**特定復興再生拠点内の家屋**も申請範囲となっています。

家屋を解体する際は、り災証明書が必要となりますのでご注意ください。解体申請後のキャンセルは可能です。詳細はお問い合わせください。

【お申し込み先】
高島テクノロジーセンター（環境省業務受注業者）
☎ 0120-700-908
大熊町役場いわき出張所　駐車場スペース内
（いわき市好間工業団地1-43）
受付時間：午前 8時 30分～午後 5時 15分
（祝日を除く月曜日～金曜日）

■片付けごみ回収

大熊町全域のごみステーションに出された片付けごみを回収しています。片付けのため大型の袋が必要な際はお申し込みください。

また、**除染実施区域（中屋敷、大川原）および特定復興再生拠点内に住居がある方**については、粗大ごみ等の個別回収もしています。希望される方はお申し込みください。

【お申し込み先】

双葉運輸　片付けごみ回収受付センター

☎ 0120-50-8832

問 福島地方環境事務所　浜通り南支所（廃棄物担当）

☎ 0240-25-8993

問 大熊町役場いわき出張所　環境対策課

■中間貯蔵施設について

○輸送について（11月11日～12月9日）

いわき市、大熊町、富岡町、楢葉町、広野町、川内村、郡山市、白河市、田村市、鏡石町、棚倉町、三春町、矢吹町、天栄村、西郷村から中間貯蔵施設の保管場へ除染土壌等の輸送を行いました。

また、町有地への搬入については、郡山市、白河市、いわき市の学校等からふれあいパークおおくまへの輸送を行いました。

問福島地方環境事務所

中間貯蔵施設等整備事務所　調査設計課

☎ 024-563-1293

問大熊町役場いわき出張所　環境対策課

■町内の灯油回収

環境省では、ご家庭に残置されている灯油等の回収受付を実施しています。回収を希望される方はお申し込みください。

※環境省が回収を実施しますが、受付は東京電力ホールディングスで行います

【回収対象】

全ての石油類および塗料等

（ポリタンク、オイル缶等は容器ごと回収します）

【お申し込み先】

東京電力ホールディングス

福島復興本社 大熊町グループ

☎ 080-6842-2349（平日午前９時～午後５時）

問 福島地方環境事務所　浜通り南支所（廃棄物担当）

☎ 0240-25-8993

■除染と中間貯蔵施設に関するお問い合わせ窓口

☎ 0120-027-582

※日祝日を除く 午前９時 30分～午後６時 15分

東 17 号線にう回路を設置します

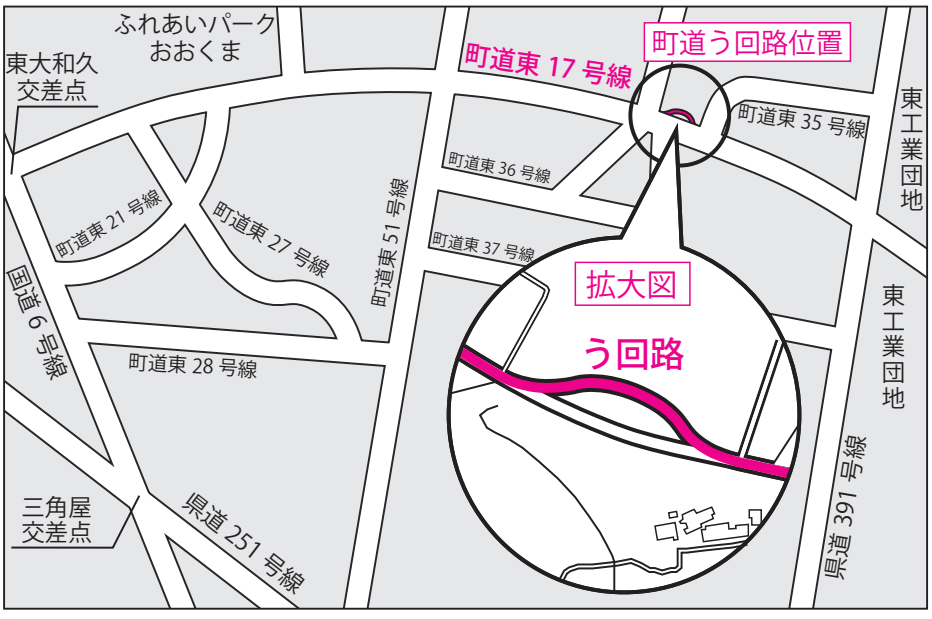
中間貯蔵施設への横断管の敷設のため、図のとおり町道東17号線にう回路を設置します。

期間は平成 30 年 1 月下旬～３月下旬を予定しています。一時帰宅等、通行の際はご注意ください。

問福島地方環境事務所

中間貯蔵施設浜通り事務所

☎ 0246-84-7723



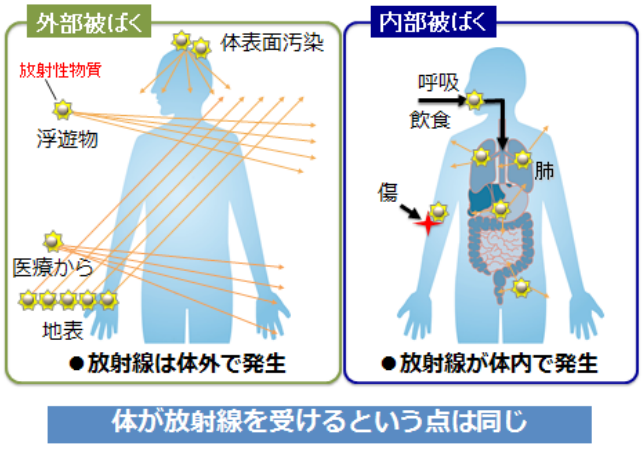
●外部被ばくと内部被ばく

地表にある放射性物質や空気中に浮遊する放射性物質、あるいは衣服や体表面に付いた放射性物質等から放射線を受けることが外部被ばくです。

一方、内部被ばくは、①食事により飲食物中の放射性物質を体内に取り込んだ場合（経口摂取）②呼吸により空気中の放射性物質を体内に吸い込んだ場合（吸入摂取）③皮膚から吸収された場合（経皮吸収）④傷口から放射性物質を体内に取り込んだ場合（創傷侵入）により起こります。一旦放射性物質が体内に入ると、排泄物と一緒に体外に排泄されたり（生物学的半減期）、物理的半減期による時間の経過と共に放射能が弱まるまで、人体は放射線を受けることになります。内部被ばくは、体内中に存在する時間が重要で、生物学的半減期と物理的半減期から算出される実効半減期を用いて線量を計算します。

外部被ばくと内部被ばくの違いは、放射線を発するものが体外にあるか、体内にあるかの違いであり、体が放射線を受けるという点では同じです（図３）。

【図３】



出典：「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 平成27年度版 」（環境省）、一部を加工して作成

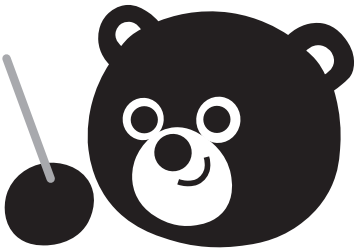
人体が放射線を受けたことにより、身体に影響を及ぼすかどうかは、どこに、どれだけ放射線を受けたかによって異なります。

全身に放射線を受けることを全身被ばく、部分的に受ける場合を局所被ばくと呼びます。

全身被ばくでは全ての臓器・組織で放射線の影響が現れる可能性がありますが、局所被ばくでは、原則として被ばくした臓器・組織のみに影響が現れます。被ばくした部位に免疫系や内分泌系の器官が含まれる場合には、離れた臓器・組織に間接的に影響が現れることがあり得ますが、基本的には被ばくした臓器･組織の影響が問題となります。また、臓器によって放射線への感受性が異なります。このため、局所被ばくでは、被ばくした箇所に放射線感受性の高い臓器が含まれているかどうかで、影響の生じ方が大きく異なります。

内部被ばくの場合、放射性物質が蓄積しやすい臓器・組織では被ばく線量が高くなります。この蓄積しやすい臓器・組織の放射線感受性が高い場合、放射線による影響が出る可能性が高くなります。チェルノブイリ原発事故の後、ベラルーシやウクライナでは、子供の甲状腺がんの発症数が増加しましたが、これは、放射性ヨウ素が甲状腺に蓄積しやすいこと、子供の甲状腺が大人より放射線感受性が高いことの両方の原因によります。

教えておおちゃん 放射性物質

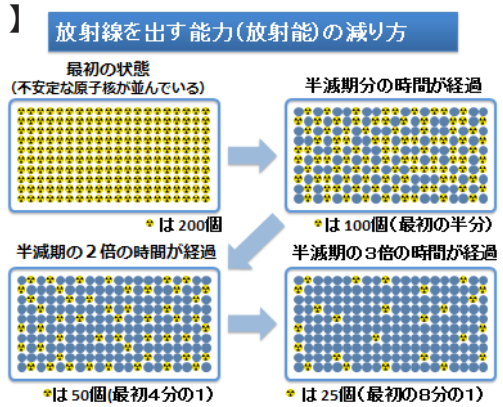


Part32. 基礎のおさらい～その２～

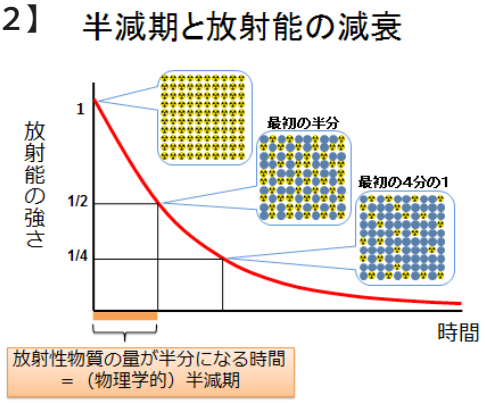
問大熊町役場いわき出張所　環境対策課

●半減期

【図１】



【図２】



出典：「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 平成27年度版」（環境省）、一部を加工して作成

放射線を出して安定的な状態となった物質は、放射線を出しません。時間の経過に伴い、放射性物質の量が減って放射能が弱まり、半減するまでの時間のことを半減期（物理的半減期）と呼びます。放射性物質の減り方と半減期の関係を絵で見てみます（図１）。

もともと200個の放射性物質があったとします。半減期分の時間が経過する間に、約100個の放射性物質は放射線を出し、別の物質に変化します。残り約100個は放射性物質のままです。次に、半減期の２倍の時間が経過する間に残りの約100個の放射性物質のうち約50個は放射線を出し、別の物質になります。結果的に放射性物質は約50個（元の約４分の１）までに減ります。さらに半減期の３倍の時間が経過した時点で、放射性物質の量はもともとの約８分の１に減少します。

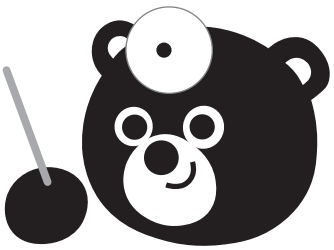
次に、放射能の減り方と半減期の関係をグラフで見てみます（図２）。

半減期分の時間が経過すると、放射性物質の量は元の半分になり、結果として放射能も半分になります。更に半減期分の時間が経過すると、放射性物質の量が更に半分（最初の４分の１）になります。このように、半減期分の時間が経過するごとに、放射能は１→２分の１→４分の１→８分の１→16分の１と減っていきます。横軸に経過時間、縦軸を放射能の強さにして、放射能の減り方をグラフに表すと、曲線（指数関数）的に減ることが分かります。

半減期は放射性物質の種類によって異なります。例えば、ヨウ素131の半減期は８日、セシウム134の半減期は２年、セシウム137の半減期は30年です。

なお、体内に取り込まれた放射性物質は、臓器や組織に取り込まれた後、排泄されます。排泄によって体内の放射性物質の量が半分になる時間を生物学的半減期といいます。

教えておおちゃん ヘルシーライフ



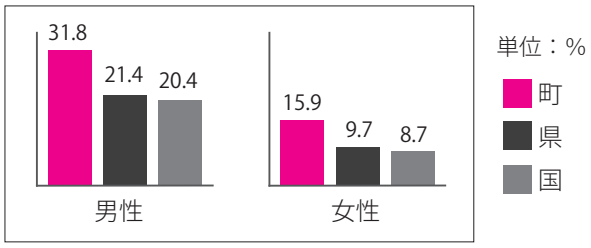
Part. 10 肝臓、沈黙の臓器

問大熊町役場いわき出張所　健康介護課



肝臓は心臓と同じくらい重要だけど「沈黙の臓器」って言われて、多少悪くなっても自覚症状が出ないんだよね。

平成 28 年度特定健診の肝機能検査（ALT 数値）で精密検査が必要と判定された人の比率



そのとおりだよ。肝臓の機能が悪くなる原因には、脂肪肝、アルコール、ウイルス、薬剤などがあるよ。

肝臓の機能が悪くなっているのに気付かずにいると慢性肝炎になり、そのまま放っておくと肝硬変や肝がんになることがあるんだ。

肝臓の状態を知るために、健診では血液検査で、肝細胞から血液に流れ出した酵素（ＡＬＴなど）の濃度を調べるんだよ。





だから、早期発見するためには健診を受けることが大切なんだね。

上のグラフを見ると、男女ともに国や県より精密検査が必要と判定された人の率が高いのが気になるね。

そうだね。大熊町は肥満の割合が高いからそれもひとつの原因なんだよ。肥満になると肝臓の機能が弱ってしまうんだ。

アルコールはもちろん、食事の量など生活習慣を見直してみてね。

精密検査とならないためにも、できることから取り組んで欲しいな。





やっぱり「適度な運動」と「バランスのとれた食生活」が大事なんだね。何から始めればよいか分からない場合は栄養士や保健師に相談してみよう。



肝機能を調べる血液検査項目のＡＳＴやＡＬＴ、γＧＴＰなどは、肝細胞に多く含まれる酵素のことです。この数値が高いとそれだけ肝臓に障害が発生していることを意味します。

検査の異常値は、肝臓からの注意信号です。健診の結果、精密検査が必要と判定される「要精検」となった場合は必ず医療機関を受診しましょう。

ほけんだより

皆さんの健康や子育てに役立つ様々なイベントを開いています。ぜひご参加ください！

問大熊町役場いわき出張所　健康介護課　保健衛生係
大熊町役場会津若松出張所　福祉課　健康介護係

【県外の妊婦さんへ】
母子手帳をもらったら、町から送付するものがありますので、いわき出張所健康介護課までご連絡ください。



会津若松といわき出張所に、それぞれ管理栄養士がいます。気軽にお声をかけてください。

一年の計は食にあり

新年を迎え、食事について一言。

せっかくだから医食同源を目指し「心と体が元気になる」よう、おいしく楽しく食べたいですね。

「医食同源」とはバランスのとれた食事をとることで病気を予防し、日ごろの「食生活」も医療に通じるという意味です。

私たち管理栄養士は、「食べること、からだに良い食材、食事」のことを皆さんと一緒に考えていきます。気軽にご相談ください。

食から内臓美人を目指しましょう。

ちょこっとレシピ　～ねぎとしいたけの炒め物～

免疫力の活性化と風邪予防に最適レシピ！



●材料（４人分）
・長ねぎ…１本
・生しいたけ…10枚
・サラダ油…大さじ３
・酒…大さじ２
・しょうゆ…大さじ２
・ゴマ油…少々
・七味唐辛子…適宜

●作り方
❶ねぎを５～６センチに切り、縦３等分に切る。しいたけは軸をとり、３～４等分のそぎ切りにする。
❷フライパンに油を熱し、しいたけを強火で炒める。油が回ったら、油大さじ１を足し、ねぎを加えて炒める。
❸酒・しょうゆを加えて手早くからめ、炒め合わせる。
❹器に盛り、好みでゴマ油、七味唐辛子をふる。

子育てひろば

内自由遊び、身長体重測定、離乳食・育児の個別相談
時１月９日（火）、25日（木）午前９時30分～11時30分
場大熊町役場いわき出張所２階
対未就学児と保護者（祖父母も可）
持飲み物、おむつ
申不要
問大熊町役場いわき出張所健康介護課　保健衛生係

大熊町健診結果説明会

せっかくの健診結果を活かしてより良い生活習慣を身に付けましょう。

内体内年齢測定、栄養講話、運動実践、個別相談（内から外から若返りのコツ教えます！）
対大熊町民
持健診結果（大熊町実施以外の健診結果でも可）、筆記用具（体内年齢を測ります。素足になれる服装でお越しください）
定いずれも先着20人

日　時	会　場	申込先・締切
１月25日（木） 午前９時30分 ～11時30分	大熊町役場 中通り連絡事務所 会議室１・２	会津若松出張所 福祉課　健康介護係 １月18日まで
１月26日（金） 午前９時30分 ～11時30分	いわき市泉公民館 ２階研修室	いわき出張所 健康介護課　保健衛生係 １月19日まで
１月31日（水） 午前９時30分 ～11時30分	大熊町役場 いわき出張所 ２階多目的ホール	いわき出張所 健康介護課　保健衛生係 １月24日まで
２月７日（水） 午後１時30分 ～３時30分	大熊町役場 会津若松出張所 １階東会議室	会津若松出張所 福祉課　健康介護係 １月31日まで

時日時　場会場　内内容　対対象者　費参加費用　持持ち物　定募集定員　期申し込み期間・期限

こちら包括です!

11月の活動実績…相談・23件　対応・96件

大熊町地域包括支援センターではお年寄りの閉じこもり、認知症を予防する各種事業を行っています。

問大熊町地域包括支援センター
（大熊町役場いわき出張所　健康介護課　包括支援係）
☎0120-26-5671
（大熊町役場会津若松出張所　福祉課　健康介護係）
☎0120-26-3844

脳力アップ教室（いわき）

内あたまとカラダが喜ぶ軽運動（ボールを使った運動、音楽に合わせた運動等）
時1月23日(火)
午前10時～正午
（受付は午前9時45分～）
場大熊町役場いわき出張所
2階　多目的ホール
費無料
対65歳以上の方
定先着20人
持動きやすい服装、上履き、飲み物
期1月22日（月）まで
申電話で
問大熊町役場いわき出張所
健康介護課包括支援係
（花房・浜本）



大堀相馬焼の体験（いわき）

粘土をこねて、伸ばして、くっつけて、カップや茶碗等のオリジナル作品を作ってみませんか？
内大堀相馬焼の体験（手びねり）
講師･菅原陶器店　小野田利治さん
時1月29日(月)
午前10時30分～午後0時30分
（受付は午前10時15分～）
場大熊町役場いわき出張所
2階　多目的ホール
費300円
対65歳以上の方
定先着20人
持汚れてもいい服装、飲み物
期1月9日（火）～19日（金）
申電話で
問大熊町役場いわき出張所
健康介護課包括支援係（花房･浜本）



いきいき教室（会津）

お話ししながら楽しく体を動かしましょう！
内健康維持・介護予防の運動
費無料
持飲み物、汗ふき用のタオル
申不要
問大熊町役場会津若松出張所
福祉課　健康介護係（渡邉）

日　時	会　場
1月10日（水） 午前10時～ 11時30分	復興公営住宅 城北団地集会所
1月10日（水） 午後1時30分～ 午後3時	河東町金道地区 仮設住宅集会所
1月17日（水） 午前10時～ 11時30分	松長5号公園 仮設住宅集会所
1月17日（水） 午後1時30分～ 午後3時	一箕町長原地区 仮設住宅集会所
1月24日（水） 午前10時～ 11時30分	扇町1号公園 仮設住宅集会所
1月24日（水） 午後1時30分～ 午後3時	復興公営住宅 年貢町団地集会所

ミニコラム

歩きやすく体を整えましょう！

歩きのお助け運動を紹介します。散歩前や休憩時間等にお試しください。

○腰ゆるゆる運動



①仰向けに寝て、ひざを立て体の力を抜きます。



②両ひざを揃えたまま左右に小さな振りで1分ほど、力を抜いたまま気持ちよい角度と速度で繰り返します。

※腰周りの筋肉がほぐれ、体を動かしやすくなります。また、腰痛改善・予防にもなります

○ヒップキック運動

①力は抜いてうつぶせに寝ます。



②左右交互のかかとでヒップを蹴るイメージで20回程動かします。



※太もも裏（ハムストリング）が効率よく働き、足が前に出る力を助けます

町民掲示板

おおくま パークゴルフ協会

おおくまパークゴルフ協会の平成30年度総会を開催します。会員の皆さま、愛好者の皆さまのご出席をお待ちしています。

時１月24日（水）
　午後１時30分～
場大熊町役場いわき出張所
　２階会議室
問事務局・土屋繁男
☎ 090-3598-8700

おおくまピンポンクラブ いわき部会

おおくまピンポンクラブいわき部会は毎週２回卓球を楽しんでいます！

興味のある方、ぜひご参加ください。

時毎週月・木曜
　午後１時30分～４時
場好間第一仮設住宅北集会所
☎ 090-7069-9105（杉本）

盆踊りの歌詞 集めています

皆さんが楽しんだ盆踊りについて詳しく聞かせてください。盆踊りの歌詞をお持ちの方もご連絡ください。「この人が詳しいよ！」などの情報もお待ちしています！

問大熊町復興支援員
　コミュニティ支援担当
　佐藤（旧姓冨岡）
☎ 070-5581-5939

おおくま交流会 in 横浜中華街

町とＮＰＯ法人かながわ避難者と共にあゆむ会は、２月に横浜市の中華街で「おおくま交流会 in 横浜中華街」を開催します。中華料理店で飲茶コースを楽しみながら、同郷の皆さんで交流を深めましょう！町役場職員も参加します。

広報おおくま1月15日号に、ご案内のチラシを同封します。裏面がファクスでのお申し込み用紙となっていますので、必要事項を記入して送信してください。電話、メールでもお申し込みできます。

時２月10日（土）
　午前11時30分～午後１時30分※11時開場
場龍城飯店（横浜市中区山下町 147）
費大人 2,500 円、小学生以下無料
期１月31日（水）まで
問大熊町役場会津若松出張所　生活支援課
FAX 0242-23-7096
※メールは
　seikatushien@town.okuma.fukushima.jp



時日時　場会場　内内容　対対象者　費参加費用　持持ち物　定募集定員　期申し込み期間・期限

おおくま町会津会

時（両日とも午前10時から）
・ 1月10日（水）
　だんござし
・ 1月24日（水）
　一閑張りづくり
場おおくまサロンゆっくりすっぺ
☎ 090-7078-2327（山本）

ママだってやってみ隊

≪その1≫
内エコクラフトで鍋敷きづくり
時 1月16日（火）午前10時～
場一箕町長原地区仮設住宅
　北集会所
費300円
期1月12日（金）まで
≪その2≫
内ストレス解消の体操教室
時1月30日（火）午前10時～
場町役場会津若松出張所
　第二会議室
費無料
持飲み物（動きやすい服装で来てください）
期1月26日（金）まで
☎ 090-6259-7933（阿部）
※平日午前10時～午後5時

すまいるサロン

時 1月29日（月）
　午前10時～午後3時
場 町役場いわき出張所
　2階調理室
持 マイカップ、おむすび（昼食）
☎ 080-1830-5567（小林）

古滝屋温泉日帰りお茶会

時 1月17日（水）
　午前10時～午後3時
場古滝屋
※人数がまとまれば好間第三仮設から無料送迎バスあり
費入浴料800円（個人負担）
　※タオルや昼食は各自準備
☎ 080-6007-6824（市川）
☎ 090-5187-2234（堀本）

ふるさとおおくま会

内もちつき交流会
時1月20日（土）午前10時～
※調理にご参加いただける方は9時集合
場いわき市草野公民館
費無料
申不要
☎ 090-2270-8138（石橋英雄）
☎ 090-9531-4591（愛場誠）
☎ 090-3531-9776（冨田睦子）

大熊町いわき会

内新年会！
　（日帰り温泉＆昼食会）
時 1月27日（土）午前10時30分～
※バスをご利用の方は泉公民館に10時集合
場勿来温泉　関の湯
費2,000円
期1月20日（土）まで
☎ 090-7060-9464（澤内俊昭）
☎ 090-9746-6419（伊藤憲顕）

おおくままち北浜グループ

内新年お食事会（食事と入浴）
時1月26日（金）
　午前11時～午後2時
場和風亭もりのゆ（南相馬市原町区）
費2,000円
持タオル
期1月10日（水）まで
※集合はサンライフ南相馬（原町生涯学習センター）に午前10時50分。それ以外の方は各自現地集合ですが、交通手段の都合がつかない方はお知らせください
☎ 080-1814-9819（小林）

埼玉・おおくま友の会

内総会・懇親会
時2月25日（日）
　午前11時～午後2時
場一源（北朝霞）
費2,500円前後
☎ 090-7934-8508（倉嶋要三）

　多くの方の参加をお待ちしています。
　昨年11月18日、わたらせ渓谷で見事な紅葉を見て、トロッコ列車に乗ってきました。帰路、あしかがフラワーパークで素敵なイルミネーションを見てきました。

積小為大の会

内新年会＆懇親会
時 1月20日（土）
　午前11時～午後1時
場然林房（水戸市見川3-695）
※施設の駐車場をご利用ください
費1,000円程度
☎ 080-1657-7286（浅野）

栃木おおくまの会

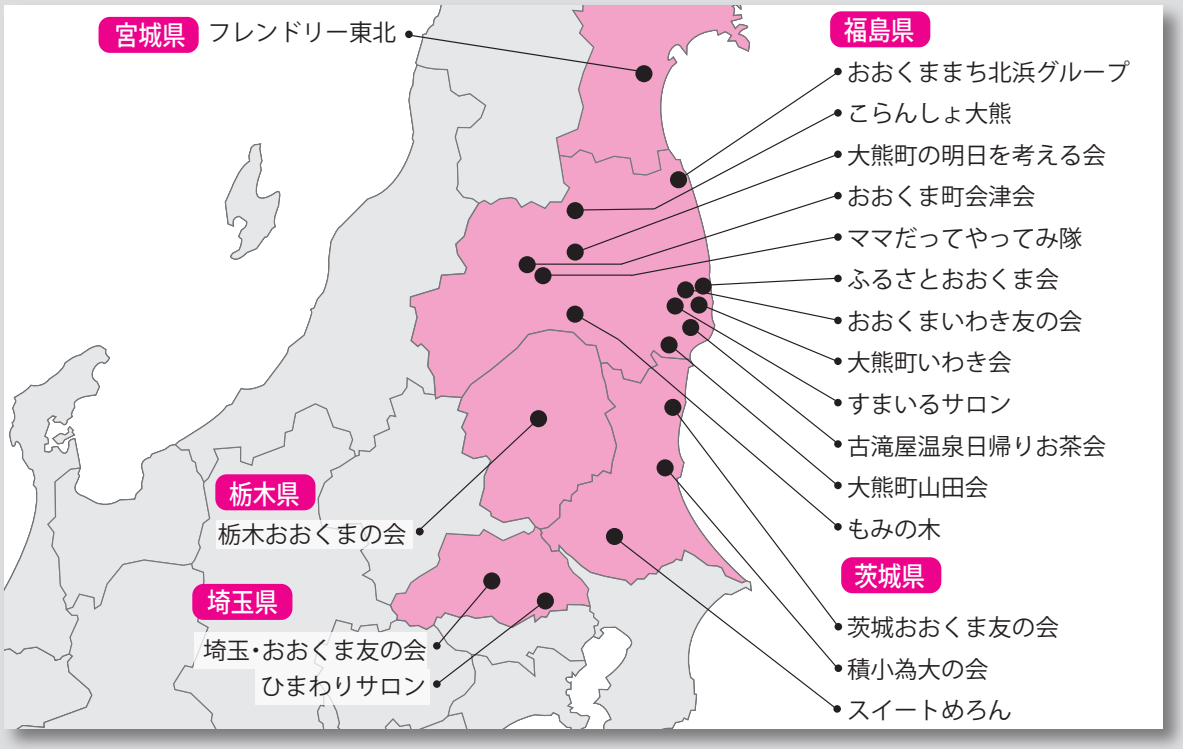
　昨年11月16日、NPO法人大熊町ふるさと応援隊の協力により、大熊町の現状を知る集いを行いました。
　会員がたくさん集まり、お昼には手打ちそばをいただきながら懐かしい大熊の様子を映像で見たり話を聞いたりしました。有意義なひとときでした。
　次回イベントは、3月に総会を予定しています。
☎ 090-2600-5826（会長・坂上）



みんな
集まれ!

町民掲示板

各地で活動する町民コミュニティ団体です。
皆さんのご参加をお待ちしています。



	団体名	拠点	代表	お問い合わせ先
県内	大熊町いわき会	いわき市	澤内　俊昭	090-7060-9464
	おおくまいわき友の会	いわき市	池田　義明	090-3643-2967
	大熊町山田会	いわき市南部	三瓶　道教	090-2958-4174
	ふるさとおおくま会	いわき市北部	石橋　英雄	090-2270-8138
	すまいるサロン	いわき市	熊谷美香子	080-1830-5567（小林和子）
	古滝屋温泉日帰りお茶会	いわき市	市川　スミ	080-6007-6824
	おおくままち北浜グループ	浜通り北部	小林　五藏	080-1814-9819
	おおくま町会津会	会津若松市	浅野　　孝	090-7078-2327（山本三起子）
	ママだってやってみ隊	会津若松市	三瓶　美和	090-6259-7933（阿部智英子）
	もみの木	白河市	深代　賢治	090-9531-1595
	こらんしょ大熊	県北地方	菅野　充史	090-2361-7451（泉広隆）
	おおくままちの明日を考える会	県中地方	太田　文代	080-1808-8333
県外	茨城おおくま友の会	茨城県内	玉澤　優子	090-3754-7849
	スイートめろん	茨城県南部	吉田　義明	080-5229-2006（星川美智子）
	積小為大の会	茨城県内	浅野　秀蔵	080-1657-7286
	栃木おおくまの会	栃木県内	坂上　信行	090-2600-5826
	埼玉・おおくま友の会	埼玉県内	倉嶋　要三	090-7934-8508
	ひまわりサロン	埼玉県川口市	島田由紀子	080-5431-0123
	フレンドリー東北	仙台市	木幡　伸夫	090-4314-8444

時日時　場会場　内内容　対対象者　費参加費用　持持ち物　定募集定員　期申し込み期間・期限

教育長室から

武内　敏英



希望と絶望

あけましておめでとうございます。

新年早々ですが、絶望について語ります。というのも「絶望手帖」（青幻舎、絶望名言委員会）という本を、先日読んだからです。世間には「希望」をはじめポジティブな言葉があふれていますが、実際の人生は心がつらく、電池切れのようになる時が多々あります。そんな時に必要なのは、その気持ちに寄り添ってくれる言葉で、この一冊はまさにそんな言葉が満載でした。私はなるほどとうなずいたり、大笑いしたり、虚を突かれたりして、おしまいには爽快な読後感さえ覚えました。

「希望」「夢」「いいね！」、なぜこのような言葉がはんらんしているのでしょう。それは多くの人が「複眼」を持たないからではないでしょうか。希望を一つの側面（単眼）だけで見ていては、その厚みを確かめられません。絶望名人と言われた文豪フランツ・カフカ。絶望を突き詰めた彼の世界観は、その後の文学の幅を広げたと言われています。絶望が、ものの見方を広げてくれたのです。希望と絶望は表裏一体。厚みと幅のあるものの見方で、希望に満ちた一年にしたいものです。

私の絶望語録から一つ。かつて、後輩教員たちに話した言葉です。「希望は希（まれ）な望（のぞ）み。そう簡単にかなわない」。つま先立ちで上を向きがちな若者に、きちんと地に足を付けて将来を見据えてほしいと願ったのでしたが、後輩たちに伝わっていたのかどうかは分かりません。



表紙の写真

今年は戌年。干支にちなんで町内野上の諏訪神社に鎮座する狛（こま）犬を表紙に使いました。昭和46年ごろに本殿を建て替えた際に寄贈されたものだそうです。遠くをにらみつける厳しい眼差しは、将来の町の復興を見据えているようにも見えます。大きく変化する町の新しい一年を見守ってほしいと願いました。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。とは言っても、この号を制作している今は、まだ２０１７年です。大みそかまで10日余り。暮れが押し迫る中、新しい年にお届けする紙面を考えるのは、不思議な感覚です。しっかりと一年を振り返り新年の誓いを立てたでしょうか。よい年になることを祈ります（村）

インターネットで町の情報をキャッチ！

大熊町公式サイト

http://www.town.okuma.fukushima.jp/

「おおくま広報室」で Facebook を検索！

町公式フェイスブック
「おおくま広報室」

http://www.facebook.com/town.okuma.fukushima/

おおくまアプリサポートセンター

新しいタブレットのお問い合わせは、こちらまで！

フリーダイヤル：0120-090-215
通話無料（平日 午前９時～午後６時）

こんにちは赤ちゃん

こどもの名	親の名	住　所
大内　直（なお）	・　唯	旭　台
宮本理玖（りく）	優貴・佳純	久麻川
鈴木友翔（ゆうと）	友貴・友美	大

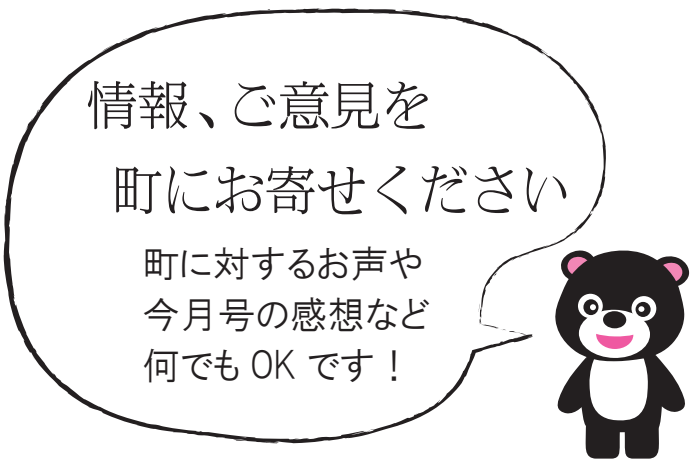
ご結婚おめでとう

花むこ	住　所	花よめ	住　所
中居大和	郡山市	菅野亜美	錦　台
杉山龍太郎	古　舘	桑原まゆ	いわき市
志賀祐太	向　畑	大平恵梨華	いわき市

おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住　所
鈴木二郎	84 歳	秋葉台
泉田幸寛	33 歳	諏　訪
大越優心	13 歳	清　水
小林キヌ	86 歳	原
佐久間文子	85 歳	清　水
渡部晶子	75 歳	南　平
志賀シマコ	96 歳	南　平
金澤恵子	74 歳	滑　津
青田榮子	91 歳	新　町
大和田ミツ子	91 歳	高　平
大河原サト子	92 歳	八　坂
鎌田八重子	99 歳	東　平
橋本アイ子	82 歳	西大和久

※ 2017 年（平成 29 年）11 月



メール　okuma@town.okuma.fukushima.jp
はがき　〒965-0873　福島県会津若松市追手町 2-41
「大熊町役場　総務課秘書広聴係」宛

●町民避難先

（平成 29 年 12 月 1 日現在）

都道府県	人数
海外	0
不明	0
北海道	34
青森県	23
岩手県	2
宮城県	198
秋田県	21
山形県	37
福島県	7,966
茨城県	497
栃木県	193
群馬県	86
埼玉県	384
千葉県	260
東京都	256
神奈川県	171
新潟県	208
富山県	5
石川県	15
福井県	8
山梨県	6
長野県	8
岐阜県	5
静岡県	22
愛知県	8
三重県	5
滋賀県	0
京都府	7
大阪府	19
兵庫県	7
奈良県	0
和歌山県	4
鳥取県	0
島根県	0
岡山県	3
広島県	0
山口県	2
徳島県	0
香川県	1
愛媛県	2
高知県	0
福岡県	23
佐賀県	3
長崎県	2
熊本県	0
大分県	10
宮崎県	22
鹿児島県	1
沖縄県	6
計	10,530

福島県内	人数
福島市	211
会津若松市	929
郡山市	1,072
いわき市	4,654
白河市	73
須賀川市	96
喜多方市	46
相馬市	102
二本松市	38
田村市	63
南相馬市	261
伊達市	7
本宮市	35
桑折町	5
国見町	2
川俣町	1
大玉村	33
鏡石町	12
天栄村	0
下郷町	0
檜枝岐村	0
只見町	0
南会津町	2
北塩原村	0
西会津町	1
磐梯町	7
猪苗代町	10
会津坂下町	18
湯川村	3
柳津町	0
三島町	1
金山町	1
昭和村	0
会津美里町	24
西郷村	17
泉崎村	16
中島村	0
矢吹町	18
棚倉町	1
矢祭町	0
塙町	5
鮫川村	0
石川町	4
玉川村	1
平田村	1
浅川町	7
古殿町	7
三春町	52
小野町	11
広野町	53
楢葉町	23
富岡町	2
川内村	11
大熊町	0
双葉町	0
浪江町	2
葛尾村	0
新地町	28
飯舘村	0
計	7,966

●人口および世帯

平成23年3月11日時点
11,505 人　　4,235世帯
平成 29 年 11 月 30 日現在

人口	10,531
増減	△ 974
世帯数	3,837
増減	△ 398

おおくま点描

町の風景の変化、表情豊かな町民の様子を写真とともにお伝えします。

仮設住宅で月命日のキャンドルイベント



キャンドルアーティストのキャンドル・ジュンさんによる東日本大震災の月命日イベントが12月11日、会津若松市の一箕町長原地区仮設住宅集会所で開かれました。

キャンドル・ジュンさんは集まった町民とろうそくに願いごとを書いたりハワイアンレイをつくったりして交流しました。仲間の歌手によるライブも行われました。

会場はたくさんのろうそくの暖かな光に包まれ、参加者は思い思いに祈りをささげていました。

大熊町関連施設お問い合わせ先

大熊町役場

●会津若松出張所　〒965-0873　会津若松市追手町 2-41
（総務課、企画調整課、住民課、福祉課、生活支援課、出納室、教育総務課、議会事務局）
☎ 0120-26-3844（フリーダイヤル）

●いわき出張所　〒970-1144　いわき市好間工業団地 1-43
（健康介護課、環境対策課、産業建設課、復興事業課、生活支援係、庶務係、税務課）
☎ 0120-26-5671（フリーダイヤル）

●中通り連絡事務所　〒963-8035 郡山市希望ケ丘11-10
☎ 0120-24-1013（フリーダイヤル）

●大川原連絡事務所　〒 979-1306　大熊町大字大川原字南平 1138-2
☎ 0120-23-1095（フリーダイヤル）

●現地連絡事務所　〒 979-1306　大熊町大字大川原字手の倉 125　坂下ダム管理事務所内
☎ 0240-32-2318

大熊町コミュニティ支援事務所

●大熊町コミュニティ支援広域事務所
〒970-1144　いわき市好間工業団地 1-43
大熊町役場いわき出張所内
☎ 070-5581-5939

●梨の実サロン平
〒 970-8026　いわき市平字新田前 6-10
☎ 0246-38-3236

大熊町社会福祉協議会

〒 970-1144　いわき市好間工業団地 1-43
大熊町役場いわき出張所内
☎ 0246-38-8938

大熊町商工会

〒 970-1152
いわき市好間町中好間字上川原 36-1
☎ 0246-85-5103

発行・大熊町役場総務課秘書広聴係